

はつらつ
ところっこ

熱気球と育ち、熱気球と生きる



(株)ジャパンバルーンサービス 所属
町田 翔吾さん (市内在住)

略して
所沢の好きなスポットを紹介
ところっこスキ!

ベルーナドーム



幼少期から埼玉西武ライオンズファンで、家族で通った思い出の場所。今は、野球が大好きな息子たちを連れて行くのだそう。



▲(株)ジャパンバルーンサービス



▲NPO法人熱気球運営機構

日曜の早朝、鮮やかな熱気球が航空記念公園の青空にふわりと浮かぶ。5分間の搭乗体験を求めて、遠方からも多くの人が訪れる。申し込みの枠は毎回すぐに埋まってしまう。

「忘れられないフライトは、トコロんを乗せて一緒に空に上がったことです」と、爽やかに話すのは、熱気球の会社やNPO法人に属し、航空記念公園での搭乗体験も行いながら、自身も熱気球のパイロットとして活躍する町田翔吾さんだ。

熱気球との出会いは、生まれてすぐ。町田さんは0歳から空を飛んでいた。父は熱気球の会社を経営し、母は元地方局のアナウンサー。熱気球の大会を父が主催すると、母はそのMCを務めた。姉も熱気球のパイロット。まさに熱気球一家である。幼い頃から、何度も熱気球で空を飛んで育った。

2歳の時、家族で所沢に引っ越してきた。町田さん曰く「根っからの東所沢っこ」。東所沢の小学校に6年間通った。こどもの頃は、大人しい性格で、野球にのめりこんだ。都内の中学・高校に通い、ずっと野球を続けた。高校卒業後すぐに、熱気球操縦のライセンスを取得。幼少期から熱気球に触れてきた町田さんは、自然とライセンスをとろうと思ったという。大学では経済学を専攻し、卒業後は熱気

球とは違う進路を選んだが、父が築いてきた熱気球の事業を支えたいという思いで、本格的に熱気球の世界へ飛び込んだ。

それからは、いつも天候判断に悩まされている。風速3m以上の風、例えるならば小枝がわずかに揺れるような風でも、熱気球を空へ飛ばすことが難しくなる。安全に搭乗できる天候かどうか、天気予報と長くにらめっこになることが多い。「当日に中止になることもあり、その時はお客様に大変申し訳なく思います。ただ、熱気球を飛ばすうえでは、永遠に付き合っていく悩みです」と話し、安全を最優先にしている。

熱気球について、「老若男女誰でも楽しむことができ、他の乗り物にない独特な浮遊感があるのが魅力です。また、熱気球を飛ばす立場としては、複数人で協力して大きな機体を飛ばすため、熱気球を通して、仲間が増えていくことが面白いです」と話す。

航空記念公園では、月に1~2回の搭乗体験日を設け、1日に150人ほどが搭乗する。これまで多くの人の笑顔と感動を間近で見守りながら、ともに熱気球で空へ飛んできた。町田さんの人生にとって、熱気球はずっと当たり前にある日常の一部だ。「これからも熱気球に携わり続け、航空記念公園での搭乗体験も続けていきたいです。そして、熱気球ファンを増やしていければ嬉しいです」。そう話す町田さんは、熱気球が浮かぶ空のように穏やかな表情だった。(取材：平岡)



今月のプレゼントクイズ!

夏季限定! 奥秩父の天然水を味わう
フレッシュダブルベリーのかき氷と
狭山茶香る抹茶のかき氷のセット (ペアチケット)

(3,955円相当×10組20人)



夏のひとときを
涼やかに彩りますよ!



奥秩父の天然水を使用したふわふわの氷に、狭山茶が香る抹茶や、ブルーベリーとラズベリーの爽やかなダブルベリーなど、素材の味わいを生かした上質な一品です。自然の恵みを感じるひんやりスイーツで、心ほどけるひとときをお楽しみください。

●中国割烹旅館 掬水亭
ロビーラウンジ
山口2942
☎2925-7114
(午前11時30分~午後5時
/ラストオーダーは4時30分)



◆今月のクイズ
9・10・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?

◆応募方法 (7月10日(金)締め切り)
①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年代⑥電話番号⑦7月号の感想を記入し、〒359-8501広報課(住所不要)に郵送・市HP(Qプレゼント)で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市HP

読者感想文

●熱中症の危険性や対策を改めて確認することができ、助かりました。4歳の息子も「首やわきの下を冷たくするといいの?」と急に興味を持ち、理解してくれました(旭町・30代)

●昔と今の暑さの違いにびっくりしました。日傘や帽子などをうまく活用して、今年も熱中症にならないように、身体に気をつけて乗り切りたいと思います(下安松・60代)

編集から●昔より夏が暑くなり、熱中症対策が必須です。外出時は、日傘や水筒を持ち歩いてこまめに水分補給をし、市内のクーリングシェルターを利用するなどして、暑い夏を乗り切りましょう

●もうすぐ出産予定なので産後ケアについて書いてあり、興味が湧きました(下安松・30代)
編集から●訪問型の産後ケア事業も今年度新たに開始しました。産後のママや赤ちゃんが健やかに過ごせますように

●誰でもエッセイが好きです。プロじゃない、一般の人が書く文章が好きです。知らない人なのに、勝手に友達になった気分になります。これからも楽しみにしています(泉町・40代)

編集から●編集している者としても、毎月届く「みんなのひろば」の作品を楽しみにしています。たくさんのご応募お待ちしております!

編集後記

●いつか家族で航空記念公園の熱気球の定期搭乗体験に参加してみたいと思っていたところ、ところっこのインタビューをさせていただけることになりました! 2009年から始まった航空記念公園のこの事業は、これまでになんと約23,000人(6月時点)が参加してきたとのこと。首都圏内でも定期搭乗体験を行っている場所は珍しいとお聞きし、改めて魅力的なイベントだなあと感じました(平岡)

●わが家には、リチウムイオン電池を内蔵した製品が16ありました。自分では10もないかなと思っていたのですが、意外とたくさんありました。捨てる時は正しく丁寧に分別を行いたい(上地)

●趣味のテニスをしている際に熱中症になりました。強烈な内臓の痛みや、体に力が入らなくなるなど命の危険を感じました。無理しないことの大切さを学びました。もう若くはないのです(深町)